

環 境 産 業 委 員 会 会 議 録

- 1 期 日 平成26年3月3日(月)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時44分  
(休憩 10:55 ~ 10:59 )
- 4 閉会時刻 午前11時54分
- 5 出席者 委員長 草賀章吉 副委員長 中上禮一  
委員 大石與志登 委員 二村禮一  
委員 山本行男 委員 栗原通泰  
委員 竹嶋善彦 委員 高木敏男
- か (当局側) 副市長、環境経済部長、都市建設部長、部付参与、所管課長ほ  
(事務局) 議事調査係 鈴木康倫

- 6 審査事項
- ・議案第 38号 平成25年度掛川市一般会計補正予算(第6号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第4款 衛生費(第2項衛生費、第3項清掃費)  
第5款 労働費  
第6款 農林水産業費  
第7款 商工費  
第8款 土木費(第3項4目及び第4項6目を除く、第4項5目のう  
ち 所管部分)
  - ・議案第 43号 平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第2号)について
  - ・議案第 44号 平成25年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
  - ・議案第 45号 平成25年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)につい  
て
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成26年3月3日

市議会議長 大石 與志登 様

環境産業委員長 草賀章吉

## 7 会議の概要

平成26年3月3日（月）午前9時44分から第1委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[ 9:45 ~ 11:32 ]

### ①議案第38号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第4款 衛生費（第2項衛生費、第3項清掃費）

第5款 労働費

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費（第3項4目及び第4項6目を除く、  
第4項5目のうち所管部分）

#### 第4款 衛生費

[環境政策課、説明 9:46 ~ 9:52 ]

[質疑 9:52 ~ 10:18 ]

#### ○栗原通泰委員

大東・大須賀区域ごみ処理委託料の減額は、ごみの減量が成果となって実績に現れているということか。

#### ●榛村環境政策課長

ごみ量については微増しているが、一般廃棄物の手数料を値上げしたため、その収益が増えた。その収益を差し引いて計算するため、このようになった。

#### ○竹嶋善彦委員

138ページの正しい推進費の現状を教えて欲しい。今、飼い犬については登録や指導をしていると思うが、転居先で受け入れられない等さまざまな問題があると思うが、現状の課題を教えてください。

#### ●榛村環境政策課長

飼育については、放置されている件数は微増している。逃げ出したのか放置していったものか判断は難しい。今年度増えている傾向がある。動物保護一時飼養等委託料で市で管理している。飼い主が見つかる場合とそうでない場合がある。小さい犬等が飼われる傾向があるので、放し飼いのような鎖を付けない状態もあり、苦情が寄せられる件数もある。

#### ○竹嶋善彦委員

先日も話をしたが、犬を飼えなくなり、鎖で木に縛りつけてそのままにしまい、地元も解決策に困り、相談させてもらった。その後確認したら、地域の人が自分で飼いたいという事になったが、その場合の登録の変更処理がされているのか。

#### ●上野公害衛生係長

見に行った限りでは、すらっとした猟犬のような感じだった。対応については、現状把握をしてお願いをしてきた。登録についてはやってもらえる方向となったのでそのように進めた。

#### ●榛村環境政策課長

登録については、転出等で市外に出て行くので、その時の申請を基にしたり、転出先の市に手続きの書類を送付し対応している。

○竹嶋善彦委員

たまたま市境だったので、どこから持ってきたのか分からないということだった。他市との連携はどのようになっているのか。

●榛村環境政策課長

周辺については情報交換を行っている。迷い犬等については、掲示板やホームページに掲載し情報交換している。基本的には鑑札が付いていれば良いが、付いていない場合がある。迷い犬等ではそれで分かる場合があり、首輪に付けるよう広報はしている。してない場合は分からない状況がある。

○中上禮一副委員長

142ページの資源ギャラリー運営支援費の減額だが、今は有料化の話もあり、この辺の理解に苦しむ所ではないかと思うが。説明では施設の更新が目的と言うことだが、このような減額があると整合性に疑問をいただくがどうか。

●榛村環境政策課長

減額の内容で良いか。先ほど説明したとおり一般事業系の搬入手数料を100円から150円に値上げしたためである。あと、処理業務委託等で資源化物の処理業務委託で減額になっている。また、昨年度からの繰越もあり、それが反映されて減額している。

ギャラリーについては、施設の管理運営をしていく上で、建設費用と同じくらいの60億円くらい掛かっている。計画によると平成36年まで管理運転していくとなると、部品等の交換にそれくらい掛かってしまう。既に10年近く運営しており、今しっかりやっておくと長寿命化に繋がる。そのため、今年度は維持修繕等が多くなった。これをしっかりやっていき、平成36年以降も継続して運用できれば、市の税金を使って施設を建設する費用も不要となるので、しっかりした管理運営をして長寿命化を図っていきたい。

○中上禮一副委員長

そのことは理解出来るが、有料化の話が出ている中で、減額するのは説得力に欠けるので説明の時に対応していかないと心配な面があると思う。

○草賀章吉委員長

塵芥処理費は7,000万円くらい縮減されている。当初の計画と違ってきているんだと思う。これだけの減額補正は見込みが違ったというレベルではないと思う。この説明がしっかり出来ないと、片方では有料化していくという話をしているのにその説明がしにくいと思う。もう少し明確な話をして欲しい。当初7,000万円を計上していた根拠は何なのか。

●榛村環境政策課長

平成25年度の掛川市・菊川市衛生施設組合最終予算の説明をしますが、4,100万円余の減額の内容となっている。歳出だと、資源物の処理業務委託料が700万円の減額、予備費で3,400万円の減額をしている。内容としては、歳入の方で資源化物を売った実績が入り1,500万円くらいとなっている。そのようなことから、大東・大須賀区域の受託の事業費も収入も下げても良くなり、1,500万円くらい下げている。それらを加味して、ギャラリーの掛川市分で4,000万円、大東・大須賀区域ごみ処理委託料で2,300万円減額している。

○草賀章吉委員長

計画の時の予定から途中で方向転換した等の理由で削減になったとか。一般的には何かをやるうとしてやめたことにより縮減したと言うことになると思う。減額した内訳は予算書に書いてあり分かるが、それぞれもくろみよりも下がったことになるが、当初の思いが分かれば良い。

○大石與志登委員

掛川市・菊川市衛生施設組合負担金の4,000万円減額だが、一番主なものは約3,500万円の予備費でよいか。それは元々使う費用ではなかったため、それを減額したために金額が大きくなったと思う。そうすると、500万円程度が経営の節減となったと言うことで良いか。それと大東・大須賀区域ごみ処理委託料の減額の分を併せて3,000万円程度が減額になっていると言うことで良いか。

●ごみ減量推進係鈴木係長

例年ギャラリーは夏に補正をする。夏に前年の決算をして、繰越金を予備費に入れる。予備費に入れた後、約半年程度になるが、何かあったときに対応できる体制としている。その後、使わなければ、例年2月の補正で減額することになっている。

○大石與志登委員

組合の経費が減額になったと言うことは、一番大きい要因は一括管理の関係ではないかと思う。一括管理によって経費が削減されてきたと言う考えで良いか。

●榛村環境政策課長

今言われたように、包括委託として実施しており、安くなっている。

●伊村副市長

環境資源ギャラリーは20年間安定した稼働とそれに向けて支出も平準化して進めたいという基準で、施設建設をしたときに建設会社であるタクマに20年間の点検と修理費の見通しを出させた。年度予算はそれに基づいて予算化をしている。タクマには予想よりも修繕費用が掛かったとしても予算内で収めるように言ってきた。その修繕費と点検費は毎年同じではない。例えば、7年間は無料だったが、8年目からは有料となっている。全体としては増えていく傾向だが、出来るだけ平準化するようにしている。最初に見込んだものを基準として、増えたときは理由をチェックする仕組みを構築した。平成17年度に開始し、7年間の無料期間が終了し、平成24年度は修理費を大きく取ったが、契約差金も発生した。それを25年度の予備費に入れた。例年1,000万円程度だったが、大きくなりそれを減額したことの説明をさせてもらった。それが大きな要因の1つ。もう1つは、市民に有料化の負担をお願いしているが、ごみを持ち込む場合は既に有料化しており、事業系は1キロ100円から150円に上げたことにより、1,000万円程度の手数料収入が増額となった。手数料が1,000万円程度増えて、予備費の段階で3,500万円程度の予備費がでたので、数値的には大きいですが、予算の残額を予備費に入れたという方法が課題ではなかったと思う。予算処理の方法は検討させて欲しい。

○二村禮一委員

142ページの大東・大須賀区域ごみ処理委託料の2,300万円が減額になっている。地区の努力で減額になっているとしたら、分別の方法を変えなくても良いと思われるのではないか。

●榛村環境政策課長

金額の算出方法については、先ほどの説明のとおりで収入の分を外し歳出の部分でどれだけ掛かるかを計算したものになり、ごみの量については微増している。大東・大須賀区域の搬入量としては、前年度から0.9ポイント増えている。掛川区域は0.5ポイント増えている状況である。菊川は3.2ポイント増えており、ごみの減量化は必要であると考えます。

●伊村副市長

環境資源ギャラリーの25年度の予算は16億円である。内訳としては、運転委託費用、修理、点検などの総額である。これを担うための収入としては、手数料を16億円から引く。手数料としては1億円程度ある。その残った金額を掛川と菊川と大東・大須賀のごみ量に応じて割り戻す。先ほど説明の通り手数料も増え、前年度予算の残額も大きくあり、減額となった。あくまでも予算編成上の関係でそのようになっており、ごみが減ったから費用が下がったわけではない。

○大石與志登委員

大東・大須賀区域ごみ処理委託料の2,300万円の減額については、恒常的ではなく臨時的なことか。掛川市・菊川市衛生施設組合負担金についても3,500万円は予備費で他のものは500万円しかないが、恒常的な残りは無いということ。矛盾は無いということが良いか。

●伊村副市長

その通りである。26年度は通常の予算編成となる。

○草賀章吉委員長  
26年度の予備費は、あまり金額が発生しないということか。

●伊村副市長  
ギャラリーの予備費は毎年1,000万円となっているので、26年度もその通りとなる。繰り返すが、25年度に前年度の繰越金を予備費に入れたために誤解を招いてしまったので、ギャラリーとも協議していきたい。

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費  
第6款 農林水産業費  
第8款 土木費  
〔下水整備課、説明 10:18 ～ 10:20 〕

〔質疑〕  
なし

第5款 労働費  
第7款 商工費  
〔商工観光課、説明 10:21 ～ 10:26 〕

〔質疑 10:26 ～ 10:39 〕

○山本行男委員  
146ページの緊急雇用対策事業は国の100%の補助だと思うが、500万円を余らせるのではなく、有効に使うような工夫が必要だと思うがどうか。

●綱取商工観光課長  
この事業については、関係部署で事業を行い、その事業費を精算している。予算を余らせた訳ではない。各事業費が確定したことにより、減額となった。  
原因としては、緊急雇用の開始時期が申請したときの開始時期より少し遅くなって雇用期間が短くなったりなどが原因である。次年度も予定している事業については注意していきたいと思う。

○中上禮一副委員長  
太陽光発電も促進しているので、特に非常勤職員の賃金も減額しているが、逆に十分活用して普及した方が良いと思うが、非常勤賃金は何人分なのか。

●綱取商工観光課長  
太陽光発電施設の促進事業は2名である。

○中上禮一副委員長  
自宅にもアンケートに来たが、非常に詳しくて、話を聞いているともっと増やせば普及させられるのではと感じた。来年度も考慮して対応して欲しいと思う。

●綱取商工観光課長  
担当課にはその旨伝える。

○二村禮一委員  
158ページの企業誘致対策費がかなり減額しているが、今後も企業を誘致し地域の活性化が必要な中で、これだけの減額をして対策ができるのか。

●赤堀起業立地推進係長

主な要因は補助対象施設の一部廃止が見込まれたため。当初見込んでいた設備投資額に至らなかったもの。雇用条件を満たさなくて補助対象外となり、減額となった。

雇用条件については、掛川市民1名以上を雇用すること。申請の日までに引き続き雇用していること。さらには、従業員の数が雇用のあった日の1年前の日における従業員の数よりも増加していなければいけないといった雇用条件があり、それに満たない企業が数社あったため、減額となった。

●伊村副市長

産業立地奨励事業補助金については、既存の市内の企業が設備投資をした場合も対象となる。中小企業の経営者に聞くと、設備投資をする理由は、生産性を上げて合理化していくということで、たとえ1人でも雇用を増やさないと駄目という条件は、設備投資の金額によっては補助金をもらうより、人を減らした方が利益があるということで、当初この補助金を作ったときは、うまくいくと思ったが、会社の事情により、人を減らしながら設備投資をしていく。その場合はこの補助金の対象とならないというのが、デリケートな部分である。補助金の策定段階では想定していなかった。

○栗原通泰委員

条件の見直しの必要があるのではないか。海外流出やグローバル化の関係も含めて、どこまで見直すかは別として、若干の見直しの必要性を感じるがどうか。

●伊村副市長

その通りである。設備投資を多額にして人を減らしていく部分に積極的な支援ができるかどうかは疑問だが、社員を1年前と比較している部分は検討する余地はあると思う。

○竹嶋善彦委員

158ページの地域経済活動活性化事業の2,900万円の減額だが、これは耐震化などで買い物券を売ったと思うが、2,900万円減額にした実績はどのようになっているか。

●綱取商工観光課長

1月末現在で、住宅リフォームの補助は179件の交付確定をしている。太陽光発電は298件、太陽温水器は63件で合計540件の実績となっている。

○竹嶋善彦委員

減額になったと言うことは、買い物券は買われているが、使われていないと言うことか。

●村田商工観光課主幹

2,900万円の減額は、太陽光発電の設備の関係だが、今後の見込み数、太陽熱の利用見込み数、住宅リフォームはすでに終わっている。なお、買い物券は発行してから6ヶ月間利用可能である。また換金するには2ヶ月掛かる。最終的には4,000万円収まるという見込みとなったため、減額した。

●綱取商工観光課長

買い物券の有効期間が6ヶ月有り、確定してから6ヶ月間使える。去年の9月末までに買い物券を出した方は3月31日まで使えるが、10月以降に確定した人は、有効期間が6ヶ月のため、26年度にまたがることになり、未換金として想定される金額分を25年度は減額し、26年度に計上していく。その金額が2,900万円となる。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

第6款 農林水産業費

第11款 災害復旧費

[農林課、説明 10:40 ～ 10:47 ]

[質疑 10:47 ～ 10:54 ]

○中上禮一副委員長

148ページの農地集積協力金が皆減となっているが、農地集積の情報収集はしているのか。

●鈴木農林課長

この事業については、離農の給付となるので、一部のみでは交付されないため、なかなか対象者がなかった。

○中上禮一副委員長

今後の国の施策で、強い農業などを考えると農地集積は進めていなければならないと思うが、情報を収集して市として仕掛けていけないといけないと思う。

●鈴木農林課長

来年度から農地中間管理機構という新しい制度が始まります。概要は、一度まとまりのある区域の土地を中間管理機構に貸し付け、担い手にまたがしする事業となっている。これは、人・農地プランの詳細化と含め、各地域に推進を図る必要があると思っている。

○竹嶋善彦委員

152ページの老朽溜池等整備事業だが、市内にどのくらいのため池があり、市の管理と個人所有があるが、災害等を考えると、個人のもの市の管理でも地域に委託管理をしているが、どのくらいの個数か、どのような管理か、個人のもの災害等に関しての被害予想について市でもチェックが必要と思うが、どのような管理をしているか。

●鈴木農林課長

市内には301のため池がある。台帳には231ある。301池の中には受益がないとか、土手を潰して水がたまってないものも登録してあり、見直しを行っている。さらに231池の中にも受益がないものについては、堰を切るような指導もしている。大池のような国の管理もあるが、大池以外は市を通して地元管理を依頼をしている。

○竹嶋善彦委員

個人の池で個人が管理をしている池は無いということか。

●鈴木農林課長

301の中である程度把握をしていると思う。

○竹嶋善彦委員

池でも個人の名義になっているのがある。そのようなものが市が管理しているのか、あるいは個人の管理に任せているのか。

●鈴木農林課長

231池については、先ほどのように市で管理しているものであり、それ以外の約70池については、個人や地域の自主管理でお願いしている。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

[休憩 10:55 ～ 11:59 ]

第8款 土木費

[維持管理課、説明 10:59 ～ 11:05 ]

[ 質疑 11:05 ~ 11:11 ]

○高木敏男委員

掛川市として、市営住宅を何戸持っていなければいけないといった基準はあるのか。

●山本維持管理課長

実際管理しているのは、606戸あり、そのうち430戸が入居している。管理の必要な戸数は既に壊してしまったものも含めるともう少し多い。長寿命化計画を作成する中で、本来は減った分は作る必要があるが、近年の募集状況は0.8倍であり、現在の管理で足りているという判断をしている。

○中上禮一副委員長

160ページの道路橋梁維持費の下小笠川に架かっていた第2城東橋橋台の撤去見送りの理由は何か。

●山本維持管理課長

平成16年に取り壊しており、橋台部分のみ残っている。通水には支障は無い。以前から、撤去命令となっているが、費用が掛かりできなかつたが、市長が同行し、浜松の国土交通省に猶予の相談に行き、もう少し様子を見てもらう事になったため、見送りとなった。

○中上禮一副委員長

危険性はないか。

●山本維持管理課長

現状は見える部分はないので支障が無いと思っている。管理者としては、管理上良くないので撤去命令がきているが、支障は無いと思っている。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

## 第8款 土木費

[ 土木課、説明 11:11 ~ 11:20 ]

[ 質疑 11:20 ~ 11:24 ]

○山本行男委員

170ページのスマートIC設置検討委託料だが非常に厳しいと指摘されているようだが、内容はどのようなことか。

●新堀経済部長

一昨年から調査をしているが、内容としては、利用環境があるのか。また、同時にスマートインターには上下線それぞれに2車線の道路に接しているかないかが大きな要件になっている。さらに、ネクスコ側の維持管理とするとPAとスマートインターの道路が分割されることがないようにというのが大きな条件になる。進入、進出後の利用する車線について、売店の前を通過しなければならないため、ネクスコとして一番安全管理が必要なところに大型車両が通ることになる。線形上クリアできないこともあり、非常に厳しい条件が提示されている。

○栗原通泰委員

162ページの急傾斜地崩壊対策事業だが、1カ所減っており、美人ヶ谷区だと思うが、どのような理由か。

●山下土木課長

美人ヶ谷区が採択されなかった、それについては、今までは掛川市は急傾斜地の数が多く、県でも採択されてきた。しかし、袋井などの他市でも重要視され始めたため、事業費が確保出



来なかったので、引き続き要望していく。

○栗原通泰委員  
理由は分かったが、今後の計画に支障はないのか。

●山下土木課長  
事業については、適正な設計をしていくので安全性には問題ないを考える。

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

第8款 土木費  
〔都市政策課、説明 11:24 ～ 11:30 〕

〔質疑 11:30 ～ 11:31 〕

○大石與志登委員  
172ページの民間建設物アスベスト対策事業だが、残存棟数は把握しているのか。

●榛葉都市政策課長  
残存棟数については把握できていない。

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕  
議案第38号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第6号）については  
全会一致にて原案とおり可決

[11:32 ～ 11:38 ]

②議案第43号 平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第2号）について

〔都市政策課、説明 11:32 ～ 11:35 〕

〔質 疑 11:35 ～ 11:37〕

○栗原通泰委員  
99ページの利用台数の減少と言うのは、15分無料という取り組みが影響しているのか。

●榛葉都市政策課長  
全体的には160万円程度減っているが、年々減っている傾向にある。JR掛川駅の1日あたり利用状況調査では、5年間で700人程度減っている。15分無料の影響もあると思うが、全体的に掛川駅の利用数の減少が影響していると思う。

○草賀章吉委員長  
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕  
議案第 4 3 号 平成 2 5 年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第 2 号）については  
全会一致にて原案とおり可決

[11:38 ~ 11: 47 ]

③議案第 4 4 号 平成 2 5 年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）について

〔下水整備課、説明 11:38 ~ 11:44 〕

〔質 疑 11:44 ~ 11:47 〕

○高木敏男委員

129ページだが、オゾン設備は大須賀だけの設備か。

●石山下水整備課長

オゾン設備は大東浄化センターと大須賀浄化センターでやっている。農業集落排水の関係で土方もやっている。

○竹嶋善彦委員

127ページの浄化センター事業の減額だが、既決予算額が 7 億円程度あり、補正で 5 億円となっている。大きく差が出ているのは、当初の計画からの変更か、契約時の差金なのか。

●石山下水整備課長

建設に当たっては、下水道事業団に委託という形式を取っている。委託にあたり、3年間で事業を実施してもらった。当初に概算見積もりを出してもらい、下水道事業団と契約をする。更に事業団は個別の機械設備や電気設備の入札を行う。そこで入札差金が出て、それを積み上げることによりこのような金額となる。工事費が変更になったわけではない。

○草賀章吉委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕  
議案第 4 4 号 平成 2 5 年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）については  
全会一致にて原案とおり可決

[ 11:47 ~ 11:50 ]

④議案第 4 5 号 平成 2 5 年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）について

〔下水整備課、説明 11:47 ~ 11:49 〕

〔質 疑〕  
なし

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕

議案第45号 平成25年掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）については  
全会一致にて原案とおり可決

4) その他

[11:52 ~ 11:53 ]

●新堀経済部長

県道掛川大東線ですが、今朝県から連らかあり、3月14日の工期だったが、3月5日の午後1時に全面解除することになった。

○高木敏男委員

地元への説明は

●新堀経済部長

あまりに唐突で時間が無いため、関係区長には電話連絡している。

5) 閉会 11 : 54